

第3期南部地域社会実験運行について

(1) 第3期南部地域社会実験運行の概要

- ・運行期間：令和5年6月2日（金）～令和5年11月28日（火）
- ・運行日時：祝日を含む火曜日および金曜日 9:00～16:00
※稼働日数は6月：9日、7月：8日、8月：9日、9月：9日
- ・乗車受付：電話（祝日を含む火曜日および金曜日の8:30～16:00）とインターネットでの予約（24時間対応）
- ・運賃：一般（大人）/400円、小学生から高校生/200円、障がい者（手帳所有者）/200円、未就学児：無料
※同乗者割引あり（同乗者の運賃を通常運賃の半額とする割引制度）
※障がい者の同伴者は一般料金とし、障がい者と同乗する場合、同乗者割引を適用する
- ・運行車両：1台（定員8名）

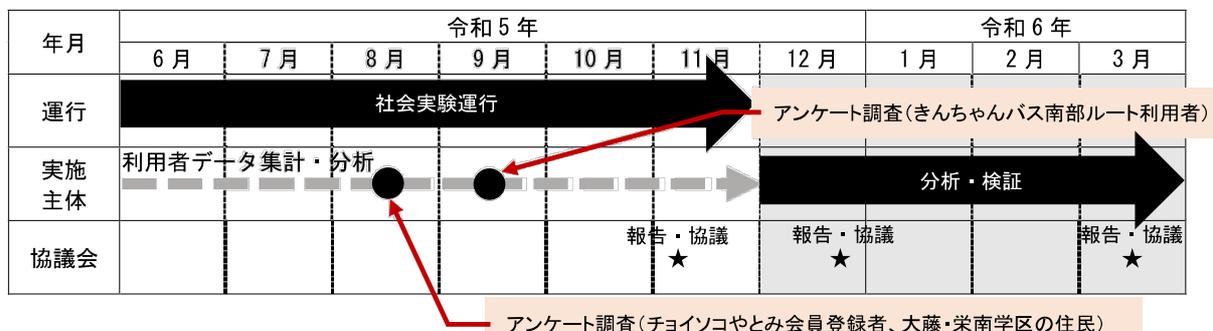
第3期南部地域社会実験運行の評価・検証

- 社会実験運行目標：社会実験運行目標とは本格運行するか否かを確認するための指標
→公共交通利用者数の増加（既存南部ルート+第3期社会実験運行の利用者数が、実験前の既存南部ルート利用者数よりも増加しているかどうか）

- 検証項目：本格運行に向けて市民や事業者の実態を把握するための項目

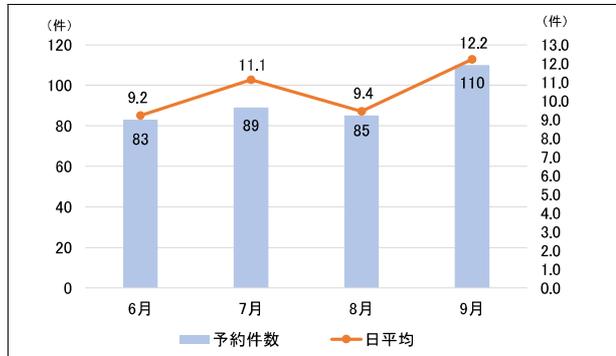
対象	検証方法	検証内容	備考
チョイソコやとみ利用者	・(株)アイシンが集計している利用者データより利用状況の把握・集計	・1日当たりの利用者数：15人 ・実験期間内の会員登録数：500人 ・乗合率：1.5～2.0	毎月集計
チョイソコ会員登録者	・アンケート調査より把握 ※チョイソコ通信の送付時に同封し実施	・利用者ニーズの把握	8月にアンケート調査実施済み
大藤・栄南学区の住民	・アンケート調査より把握	・チョイソコやとみの認知度及び利用に関わる現状	8月にアンケート調査実施済み
きんちゃんバス南部ルート利用者	・アンケート調査より把握	・きんちゃんバスからチョイソコやとみへの転換可能性	9月にアンケート調査実施済み
地域の企業や目的地停留所設置施設	・アンケート調査より把握	・チョイソコやとみの協賛金への関心度	1月にアンケート調査実施予定（資料2-2）

第3期南部地域社会実験運行のスケジュール

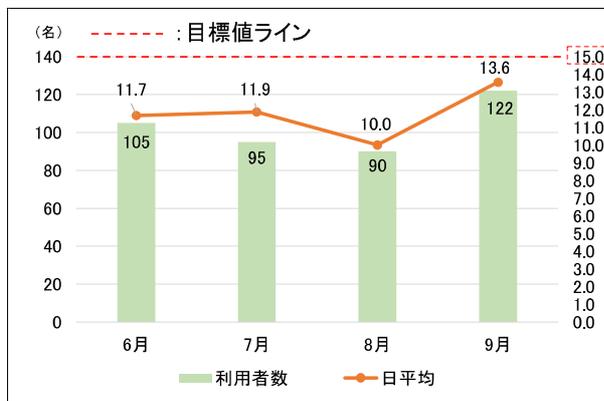


(2) チョイソコやとみ運行実績(6月~9月)

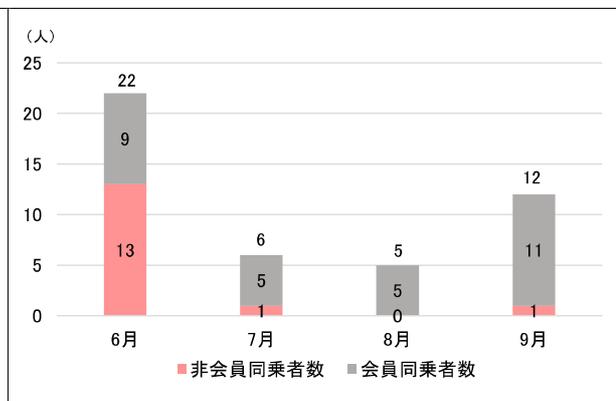
- ・稼働日数は6月が9日、7月が8日、8月が9日、9月が9日となっている。
- ・1日あたりの予約件数は6月から7月にかけて増加、7月から8月にかけて減少しているが、8月から9月にかけて約3件増加している。
- ・1日あたりの利用者数は6月から7月にかけて横ばいで、7月から8月にかけて減少しているが、8月から9月にかけて約4人増加している。
- ・同乗者数は6月が一番多く、2番目に9月が多い。
- ・乗合率[※]は6月から7月にかけて微増、7月から9月にかけて横ばいとなっている。
- ・予約不成立件数は6から8月にかけて6件で横ばいとなっていたが、9月は3件と減少している。



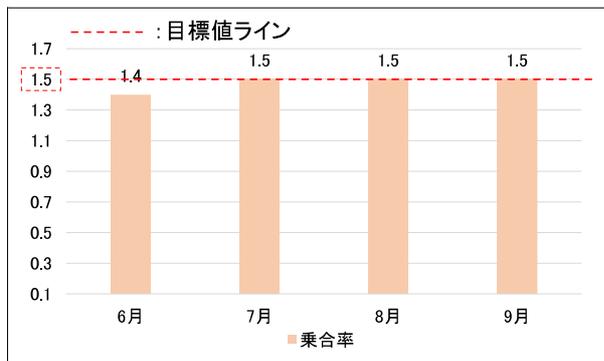
図：予約件数の推移



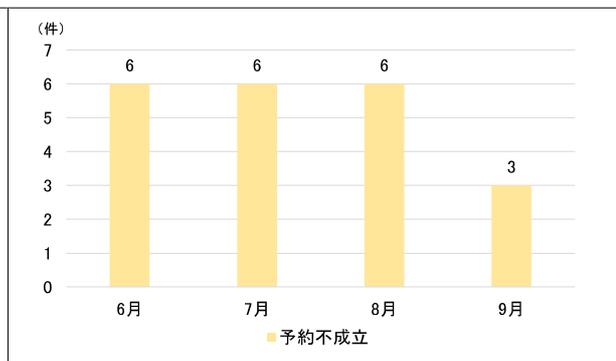
図：利用者数の推移



図：同乗者数の推移



図：乗合率の推移



図：予約不成立件数の推移

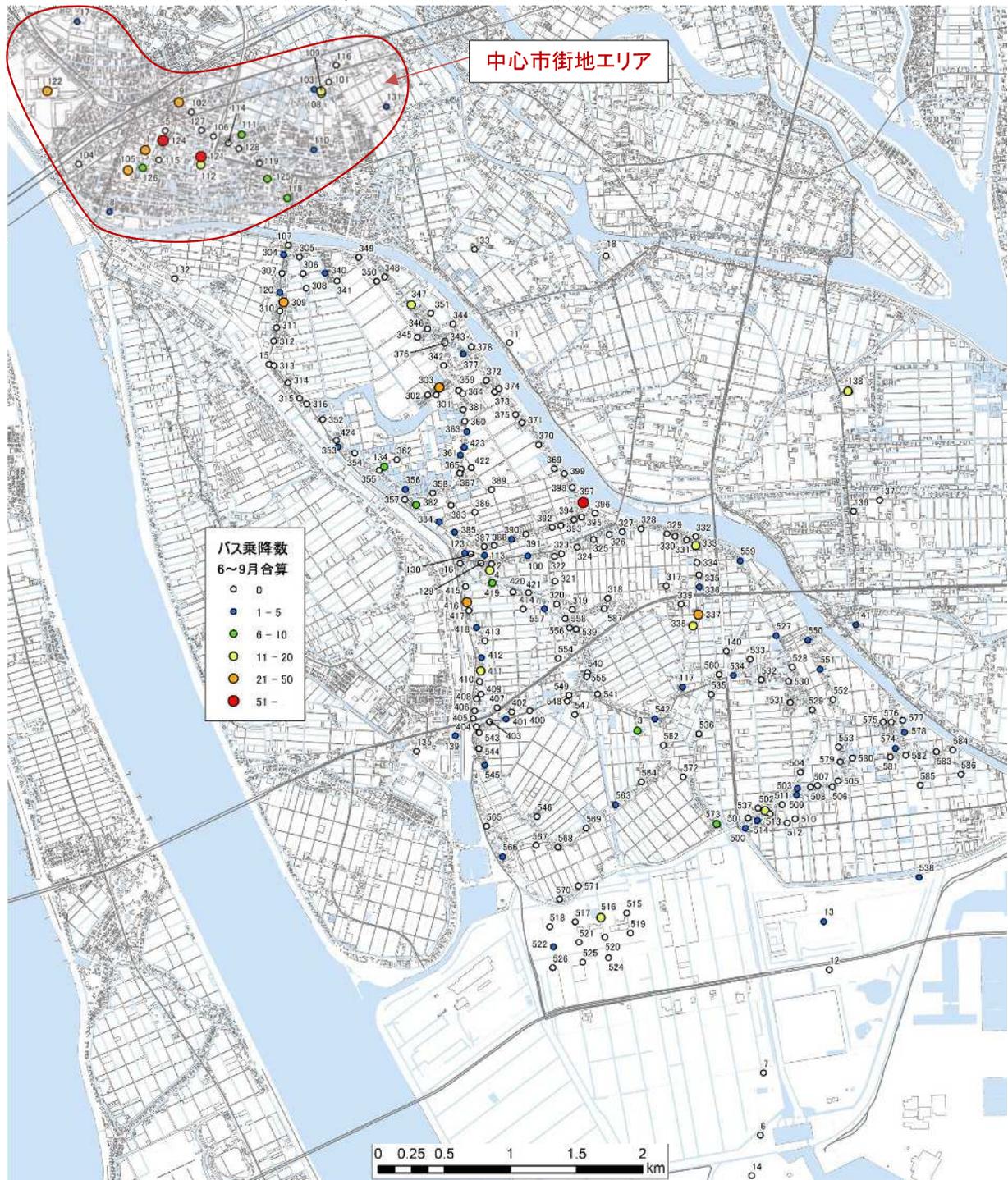
※「乗合率=(乗車時の合計人数)/(合計区間数)」で算出しており、1人も乗車していない区間は合計区間数に計上していない。
 (例)車両が停留所を「A→B→C→D」と順に移動し、このうちAから3名乗車し、Bで1名乗車・1名降車し、Cで1名降車し、Dで2名降車する場合、利用者が乗車していた区間は3区間で、その間4名乗車していたため、乗合率=4/3=1.33となる。

表：各検証項目の目標値に対する現状値の状況

検証項目	目標値	現状値(最新)	判定	備考
1日あたりの利用者数(件)	15	13.6	×	目標未達成(9月時点)
実験期間内の会員登録数(人)	500	541	○	目標達成(10月18日時点)
乗合率	1.5~2.0	1.5	○	目標達成(9月時点)

■ 停留所別乗降数

- ・乗降数が51人以上の利用者が非常に多い停留所は、中心市街地エリアでは「ウイングプラザパディー (124)」、「生鮮館やまひこ 弥富店 (121)」、大藤学区では「寛延16 (397)」である。
- ・乗降数が21人以上の利用者が比較的多い停留所は、中心市街地エリアでは「近鉄弥富駅 (9)」、「海南病院 (105)」、「ザ・ビッグエクストラ弥富店 (122)」や「弥富市役所 (1)」、大藤学区では、「中川団地3 (303)」、「加稲2 (416)」、「稲元7組③ (337)」や「森津6 (309)」である。
- ・栄南学区では、「鍋田2 (516)」の利用者が一番多いが、乗降数が21人以上の停留所はない。
- ・利用者が0人の停留所がみられる。(265箇所中、188箇所)



図：停留所別乗降数（6月～9月合算）

表：停留所リスト（公共施設、事業者停留所）

公共施設		事業者停留所	
001	弥富市役所	100	杉本クリニック
002	鍋田支所	101	小笠原クリニック
003	南部コミュニティセンター	102	こはら皮フ科
004	農村環境改善センター	103	こもれび耳鼻科クリニック
005	産業会館	104	笹医院
006	潮見霊園	105	海南病院
007	いごの里	106	篠田医院
008	総合社会教育センター	107	そぶえ整形外科
009	近鉄弥富駅	108	たなか整形外科リウマチクリニック
011	海南こどもの国	109	中村眼科
012	弥富野鳥園	110	ハート内科クリニック
013	名古屋競馬場	111	日比クリニック
014	富浜緑地	112	森眼科
016	間崎公園	113	大藤歯科医院
		114	加藤歯科医院
		115	佐藤歯科医院
		116	十四山歯科
		117	すずき歯科
		118	たなか歯科クリニック
		119	むらせ歯科
		120	Y. C. デンタルクリニック
		137	太田医院
		138	加藤胃腸科内科比ひまこクリニック
		139	もりえい病院附属伊勢湾岸クリニック
			買い物
		121	生鮮館やまひこ 弥富店
		122	ザ・ビッグエクストラ弥富店
		123	スパ・間崎
		124	ウイングプラザパティ-
		125	スギ薬局 弥富店
		126	スギ薬局 海南店
		135	タチヤ木曾岬店
		136	ＡＯ-プとび丸ま店
		127	百五銀行 弥富支店
		128	中京銀行 弥富支店
		129	桑名三重信用金庫 弥富南支店
		130	JAあいち海部 鍋田支店
		131	JAあいち海部 十四山支店
		132	輪中の郷 介護サービス
		133	長寿の里・十四山
		134	浄念寺納骨堂
		140	グリーンカフェ
		141	飛鳥バス政成停留所
			その他

※停留所リストは運行開始時点のもので、運行開始後の停留所の新設・移設に関する修正は反映中

(3) 各種アンケート調査について

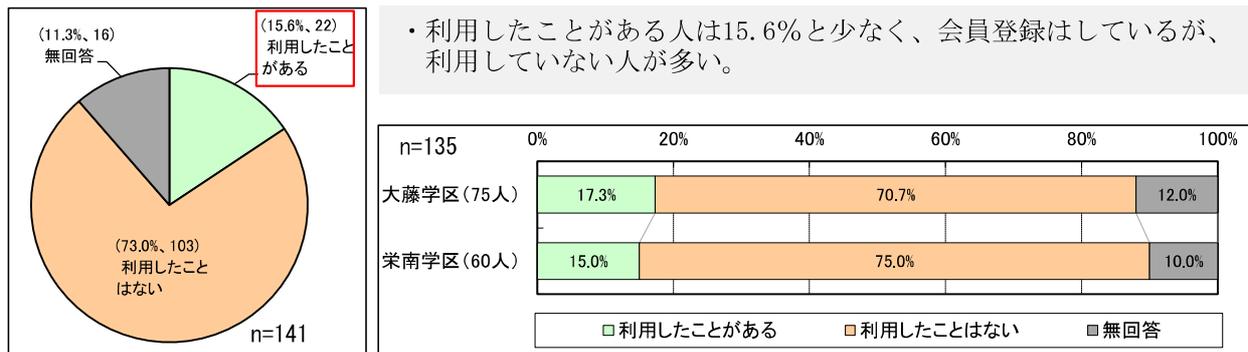
■実施概要

	チョイソコ会員登録者アンケート	住民アンケート	きんちゃんバス南部ルート利用者アンケート
実施時期	8/9(水)～8/23(水)(2週間)	8/9(水)～8/23(水)(2週間)	9/6(水)～9/20(水)(2週間)
対象	チョイソコ会員登録者	大藤・栄南学区に在住する住民	南部ルートの利用者
配布・回収方法	会員登録者が在住する世帯に郵送配布・郵送回収	大藤・栄南学区に在住する住民から1,000人無作為抽出し、郵送配布・郵送回収	上記期間にきんちゃんバス南部ルートを利用した人を対象に運転手が手渡し配布・郵送回収
回収数(回収率)	141通(43.1%)	360通(36.0%)	19通
備考	※1世帯あたり1通配布し、1世帯に複数の会員登録者がいる場合はよく利用する人が回答		

※アンケート結果の学区別集計では居住地無回答と大藤・栄南学区以外の方を除いて集計している。

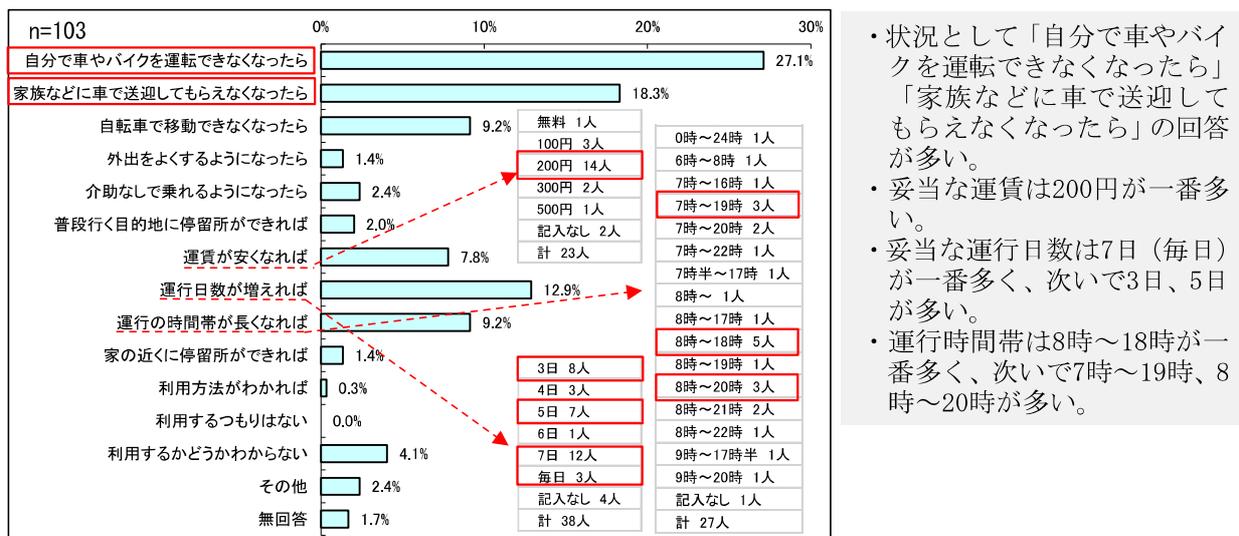
1) チョイソコ会員登録者アンケート結果(抜粋)

① チョイソコやとみの利用有無について



図：チョイソコやとみの利用有無(右：市内学区別)

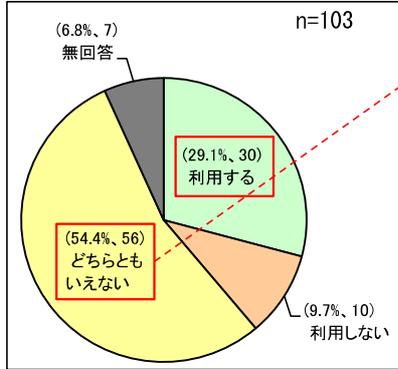
② どのような状況になればチョイソコやとみを利用するか(利用したことが無い人対象)



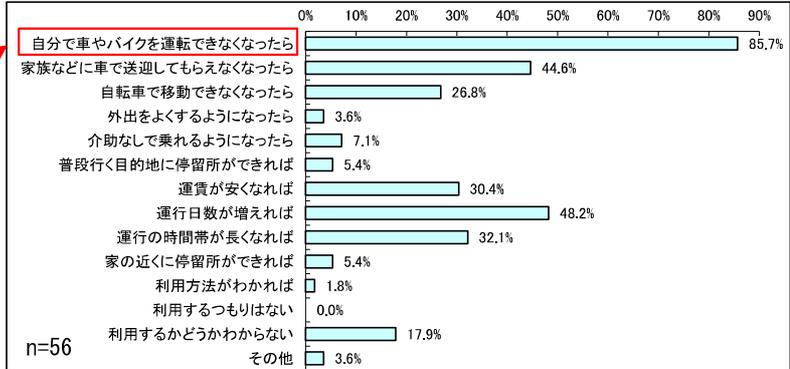
図：どのような状況になればチョイソコやとみを利用するか(複数回答)

③ 社会実験運行中の今後のチョイソコやとみの利用意向（利用したことが無い人対象）

- ・利用したい人は29.1%であり、今後新規利用者の獲得が見込める。
- ・「どちらともいえない」と回答した人が54.4%と多く、これらの人は日常生活において車やバイクで移動をしており、移動に困っていないことがわかる。

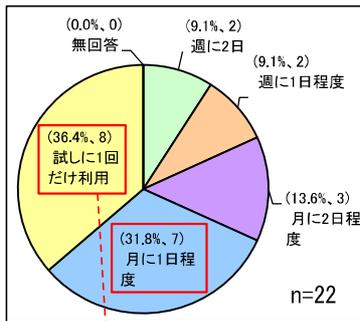


図：社会実験運行中の今後のチョイソコやとみの利用意向

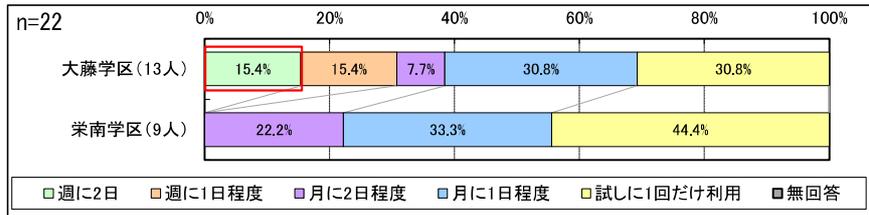


図：どのような状況になれば、チョイソコやとみを利用するか (③で「どちらともいえない」の回答者のみ) (複数回答)

④ チョイソコやとみの利用頻度（利用したことがある人対象）



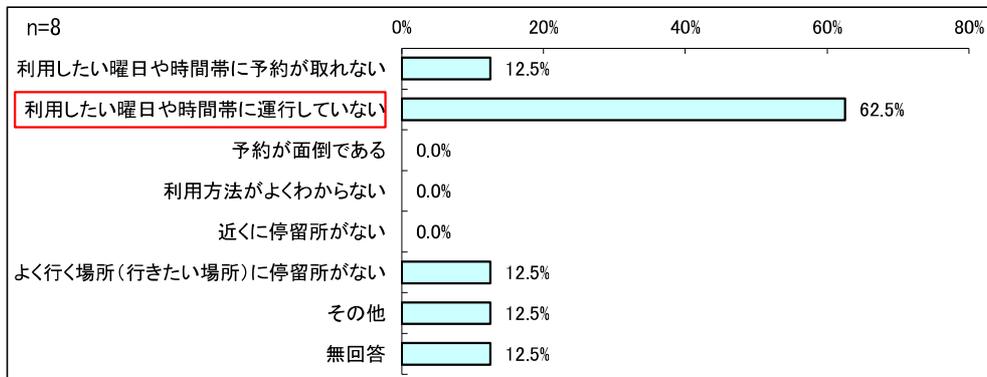
- ・「試しに1回だけ利用」「月に1日程度」と回答した人が多い。
- ・大藤学区には「週に2日」と回答した人が2名いる。



図：チョイソコやとみの利用頻度 (右：市内学区別)

⑤ 試しに利用してその後、使わなかった理由

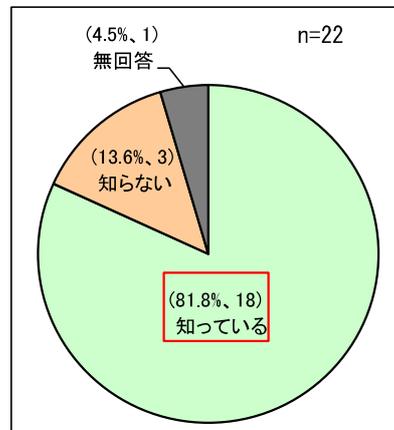
- ・「利用したい曜日や時間帯に運行していない」と回答した人が多い。



図：試しに利用してその後、使わなかった理由 (複数回答)

⑥ 同乗者割引の認知度について（利用したことがある人対象）

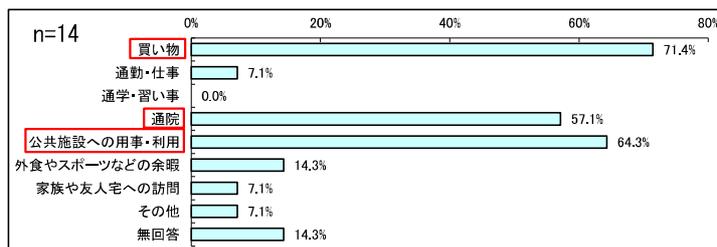
・同乗者割引を知っている人は約8割と比較的多くの方が知っている。



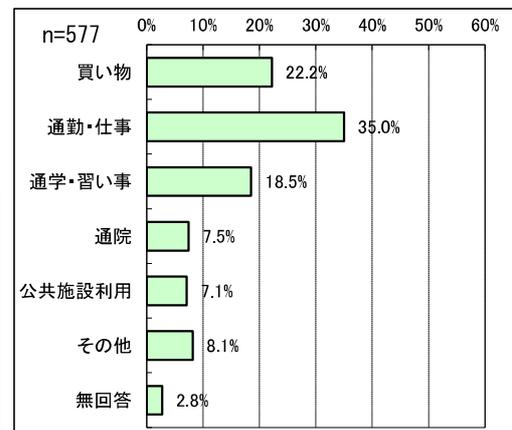
図：同乗者割引の認知度

⑦ チョイソコやとみの利用目的

・利用目的は「買い物」「公共施設への用事・利用」「通院」の順に回答が多く、きんちゃんバス南部ルートの利用目的と異なる。



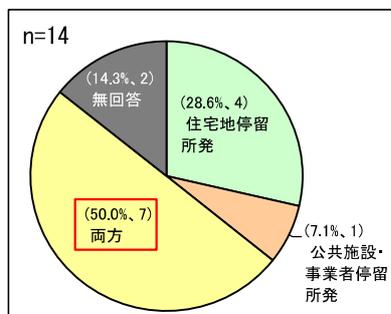
図：利用目的（複数回答）



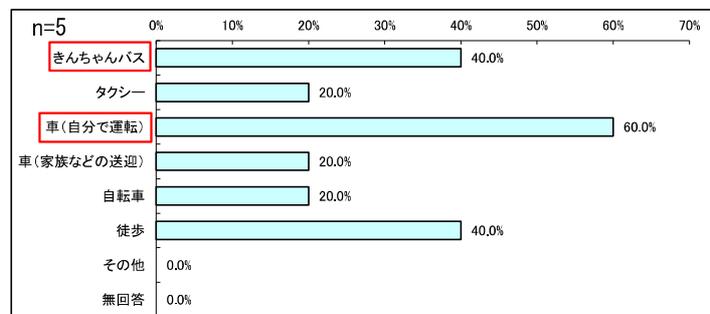
図：きんちゃんバス南部ルートの利用目的
(R2年度OD調査参考)

⑧ チョイソコやとみの主な利用方向、利用しない方向の移動手段

・主な利用方向について、「両方」と回答した人が一番多い。
・利用しない方向の移動手段は、「車（自分で運転）」が一番多く、「きんちゃんバス」もみられる。



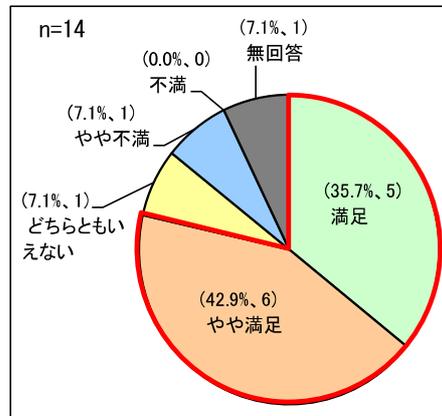
図：主な利用方向



図：利用しない方向の移動手段（複数回答）

⑨ チョイソコやとみの満足度

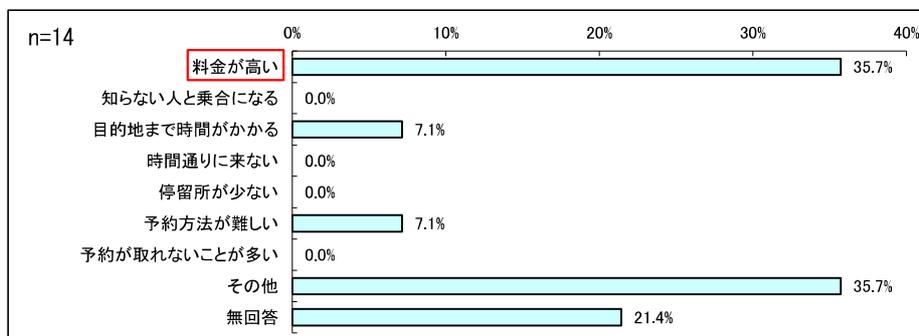
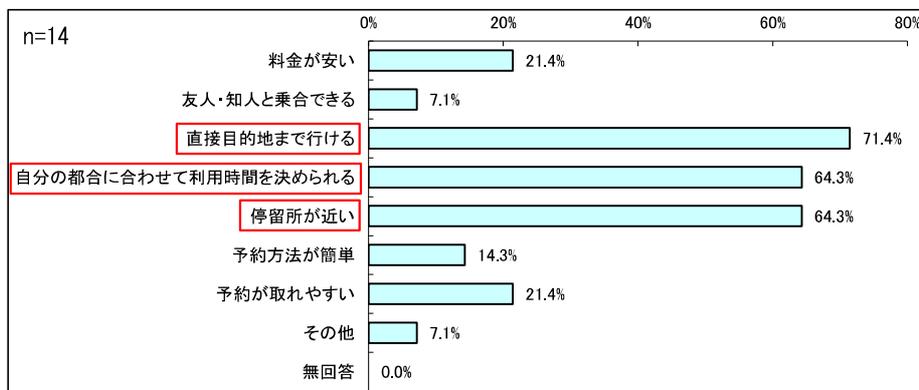
・「満足」「やや満足」と回答した人の合計が約8割を占めており、満足度は高い傾向にある。



図：満足度

⑩ チョイソコやとみの良いところ・悪いところ

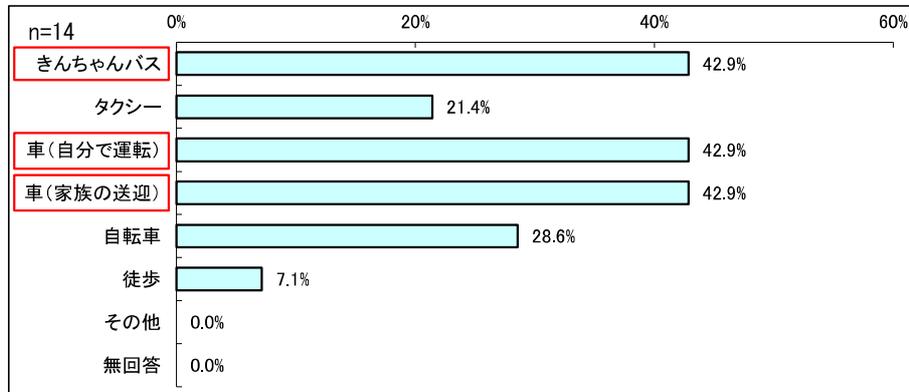
・良いところは「直接目的地に行ける」「自分の都合に合わせて利用時間を決められる」「停留所が近い」が多い。
 ・悪いところは「料金が高い」が多い。またその他としては週の運行日数に関するものが多い。



図：良いところ（上）と悪いところ（下）（複数回答）

⑪ チョイソコやとみを利用する以前の移動手段

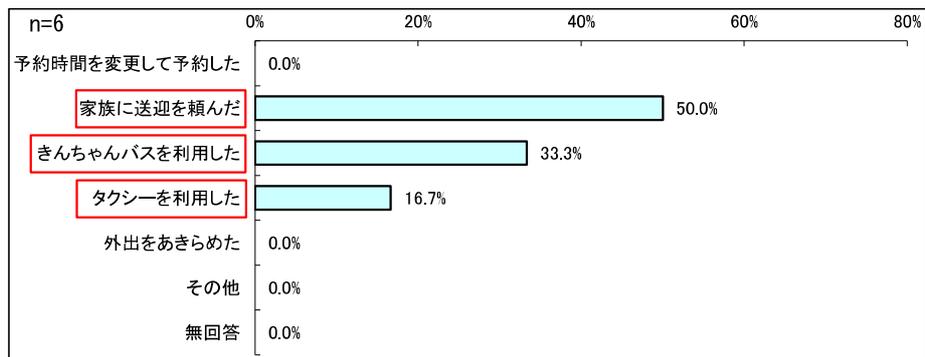
- ・チョイソコやとみを利用する以前の移動手段としては「車（自分での運転）」「車（家族の送迎）」「きんちゃんバス」が多い。



図：チョイソコやとみを利用する以前の移動手段（複数回答）

⑫ 希望する時間に予約が取れなかった場合の対応

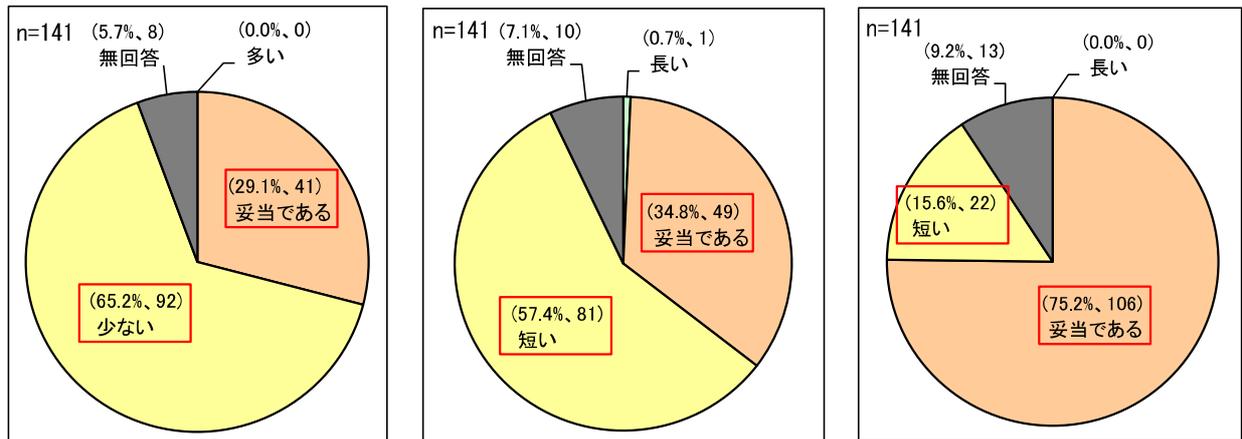
- ・希望する時間に予約が取れなかった場合の対応として、「家族に送迎を頼んだ」「きんちゃんバスを利用した」「タクシーを利用した」の回答がある。



図：希望する時間に予約が取れなかった場合の対応（複数回答）

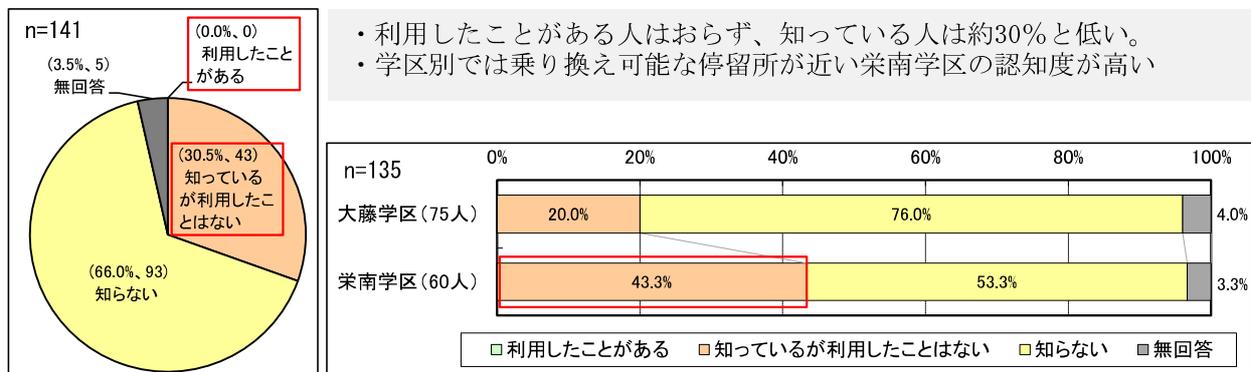
⑬ 実験中の運行について（運行曜日（回数）・時間帯・予約受付時間）

- ・運行曜日（回数）について、「妥当である」と回答した人は約30%で60%以上が「少ない」と回答している。
- ・運行時間帯について、「妥当である」と回答した人は約35%で、半数以上が「短い」と回答している。
- ・予約受付時間について、「妥当である」と回答した人は約75%で、「短い」と回答した人は少ない。



図：実験中の運行について（左：運行曜日（回数）、中央：時間帯、右：予約受付時間）

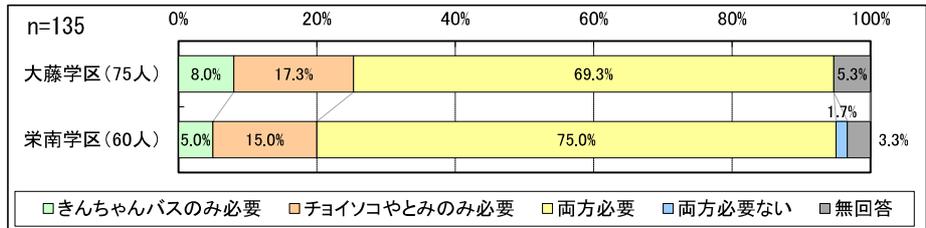
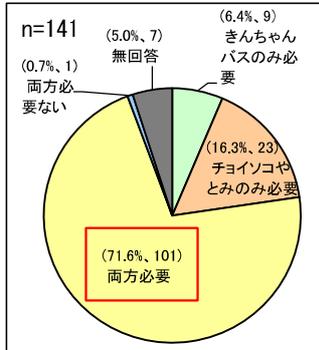
⑭ チョイソコやとみが飛島公共交通バスと乗り換え可能なことについて



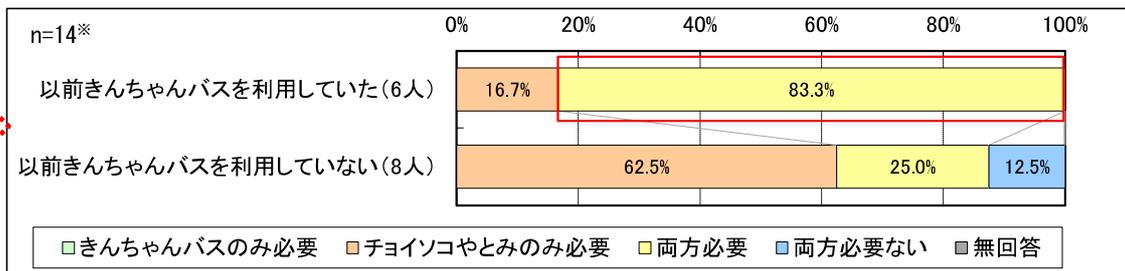
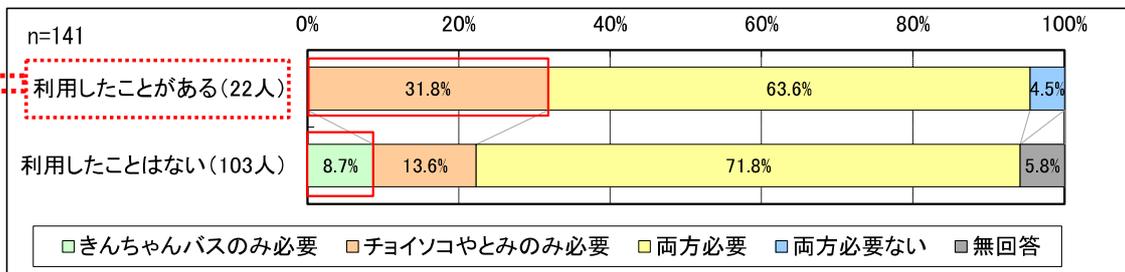
図：飛島公共交通バスとの乗り換えに関する認知度（右：市内学区別）

15 きんちゃんバス、チョイソコやとみの運行の必要性について

- ・「両方必要」と回答した人が一番多く、約70%を占めている。
- ・チョイソコやとみの利用有無別では、利用したことが無い人の方が「両方必要」の回答割合が高い。また、チョイソコやとみを利用したことがある人は「チョイソコやとみのみ必要」の回答割合が高く、利用したことがない人は「きんちゃんバスのみ必要」の回答割合が高い。
- ・チョイソコやとみを利用したことがある人のうち、以前きんちゃんバスを利用していた人は「両方必要」の回答割合が高い。



図：きんちゃんバス、チョイソコやとみの運行の必要性 (右：市内学区別)

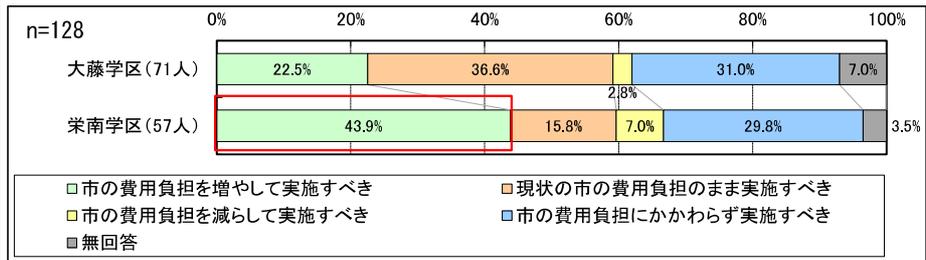
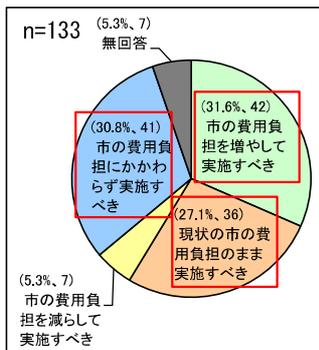


図：きんちゃんバス、チョイソコやとみの運行の必要性 (チョイソコやとみの利用有無別)

※⑪での回答者

16 今後の市の費用負担について (必要性の問での「両方必要ない」、無回答者除く)

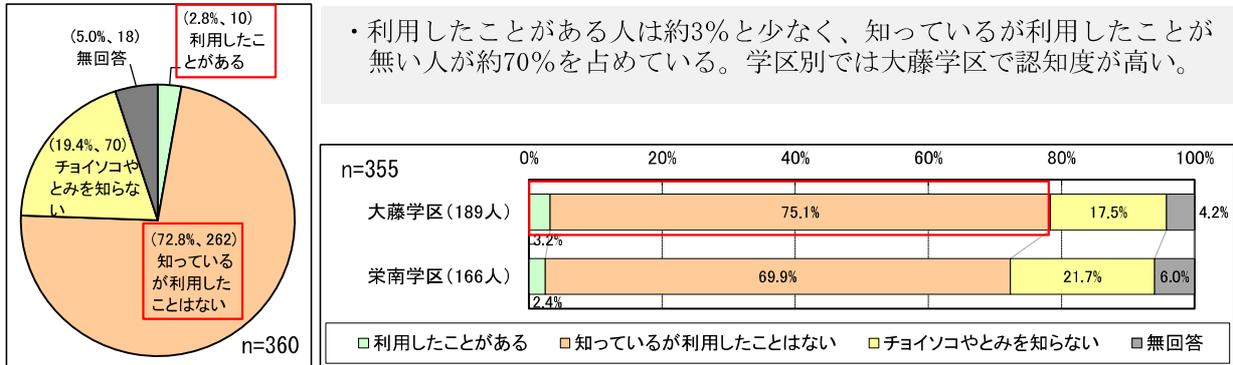
- ・「市の費用負担を増やして実施すべき」「市の費用負担に関わらず実施すべき」という回答が多いなかで、「現状の市の費用負担のまま実施すべき」という回答も多い。
- ・栄南学区で「市の費用負担を増やして実施すべき」と回答した人が多い。



図：今後の市の費用負担 (右：市内学区別)

2) 住民アンケート結果（抜粋）

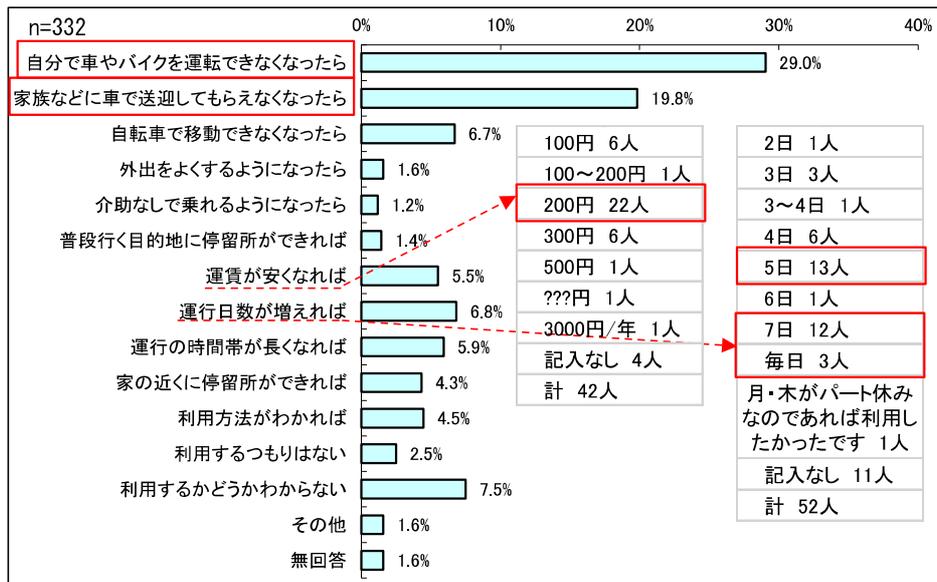
① チョイソコヤとみの認知度、利用有無



図：チョイソコヤとみの認知度、利用有無（右：市内学区別）

② どのような状況になればチョイソコヤとみを利用するか（利用したことが無い人対象）

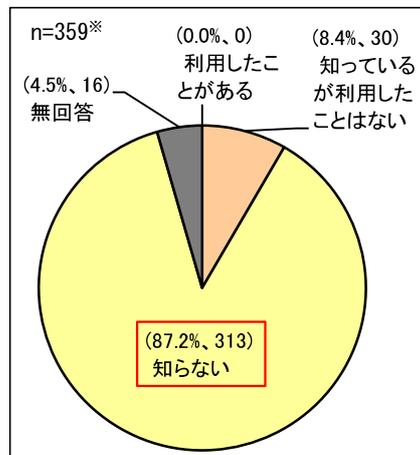
- ・「自分で車やバイクを運転できなくなったら」「家族などに車で送迎してもらえなくなったら」の回答が多い。
- ・妥当な運賃は200円が一番多い。
- ・妥当な運行日数は7日（毎日）が一番多く、次いで5日が多い。



図：どのような状況になればチョイソコヤとみを利用するか（複数回答）

③ チョイソコやとみが飛島公共交通バスと乗り換え可能なことについて

・「知らない」と回答した人が約90%とほとんどを占めており、認知度が低い。

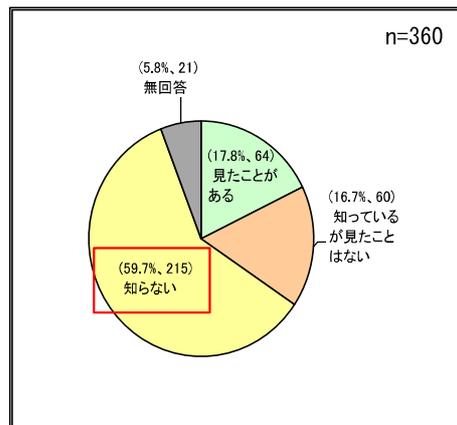


図：飛島公共交通バスとの乗り換えに関する認知度

※複数回答による集計除外1名

④ チョイソコ通信の認知度

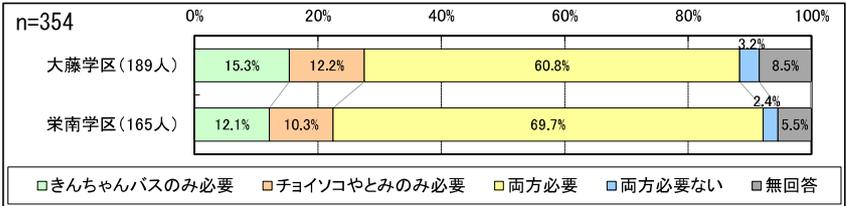
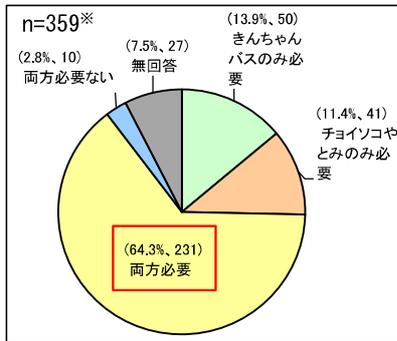
・見たことがある、知っている人が一定数いるものの、知らない人が大半であり認知度が低い。



図：チョイソコ通信の認知度

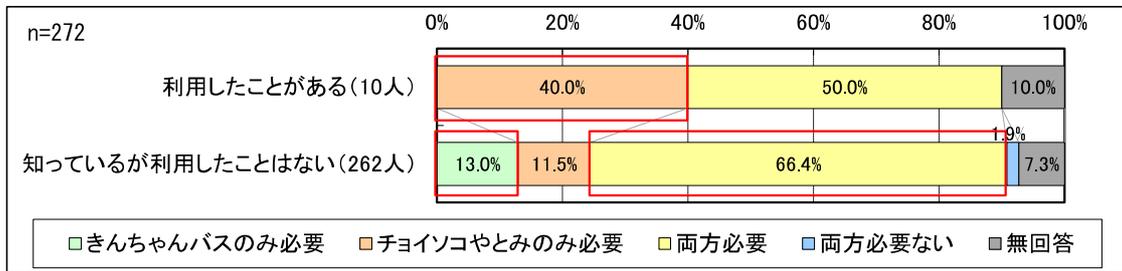
⑤ きんちゃんバス、チョイソコやとみの運行の必要性について

- ・「両方必要」と回答した人が一番多く、約65%を占めている。
- ・チョイソコやとみの利用有無別では、利用したことが無い人の方が「両方必要」の回答割合が高い。また、チョイソコやとみを利用したことがある人は「チョイソコやとみのみ必要」の回答割合が高く、利用したことがない人は「きんちゃんバスのみ必要」の回答割合が高い。



図：きんちゃんバス、チョイソコやとみの運行の必要性（右：市内学区別）

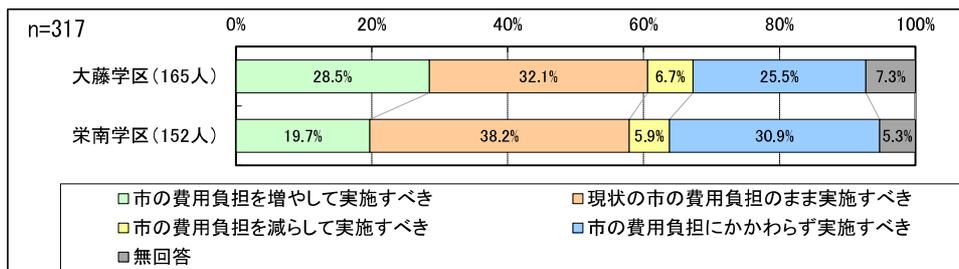
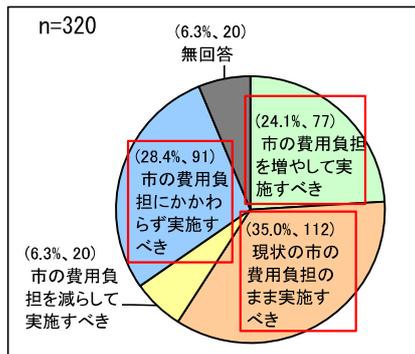
※複数回答による集計除外1名



図：きんちゃんバス、チョイソコやとみの運行の必要性（チョイソコやとみの利用有無別）

⑥ 今後の市の費用負担について（必要性の問での「両方必要ない」、無回答者除く）

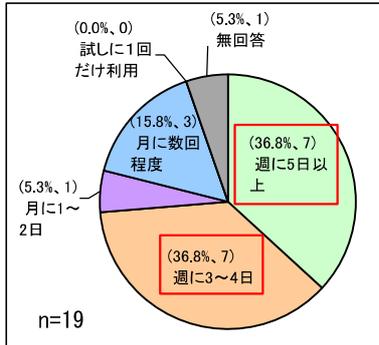
- ・「現状の市の費用負担のまま実施すべき」という回答が一番多く、次いで「市の費用負担に関わらず実施すべき」「市の費用負担を増やして実施すべき」の順に回答が多い。
- ・栄南学区と比べて、大藤学区で「市の費用負担を増やして実施すべき」と回答した人が多い。



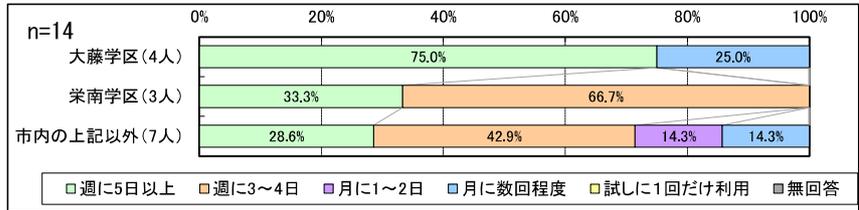
図：今後の市の費用負担（下：市内学区別）

3) きんちゃんバス南部ルート利用者アンケート結果（抜粋）

① 直近のきんちゃんバスの利用頻度について

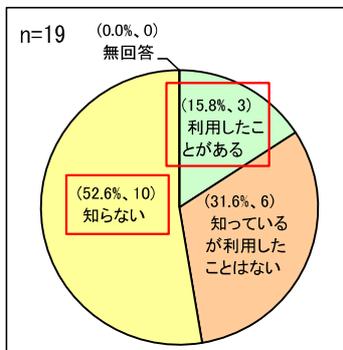


・直近のきんちゃんバスの利用頻度について、「週に5日以上」「週に3~4日」の回答が多く、きんちゃんバスをよく使う人が回答していることがわかる。

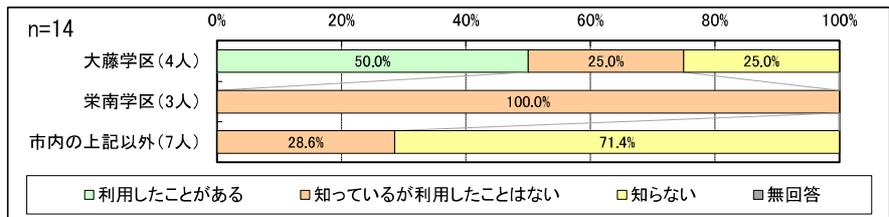


図：直近のきんちゃんバスの利用頻度（右：市内学区別）

② チョイソコヤとみの認知度、利用有無について



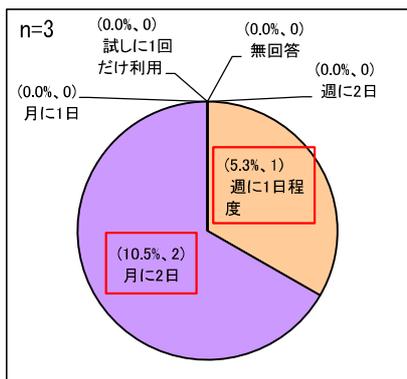
・チョイソコヤとみの認知度、利用有無について、「知らない」と回答した人が半数以上を占めており、利用したことがある人は全体の15.8%となっている。



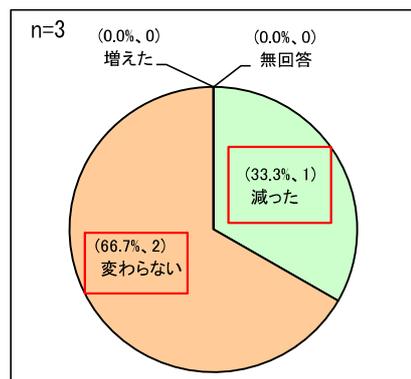
図：チョイソコヤとみの認知度、利用有無（右：市内学区別）

③ チョイソコヤとみの利用頻度ときんちゃんバスの利用頻度

・チョイソコヤとみの利用頻度について、「週に1日程度」「月に2日」の回答がみられ、チョイソコヤとみ導入前と比較したきんちゃんのバス利用頻度は「変わらない」「減った」の回答がみられる。



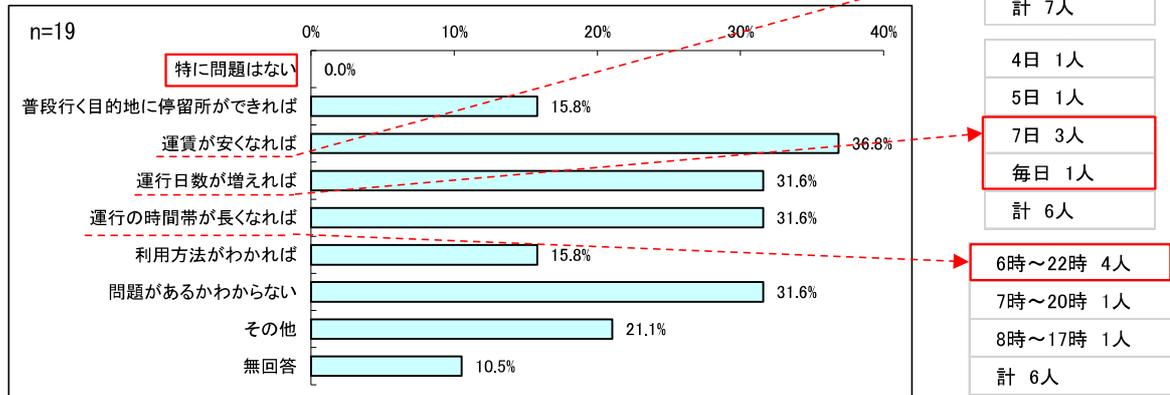
図：チョイソコヤとみの利用頻度



図：チョイソコヤとみ導入前と比較したきんちゃんのバス利用頻度

④ きんちゃんバスがなくなった場合、チョイソコやとみがあれば移動に問題はないか

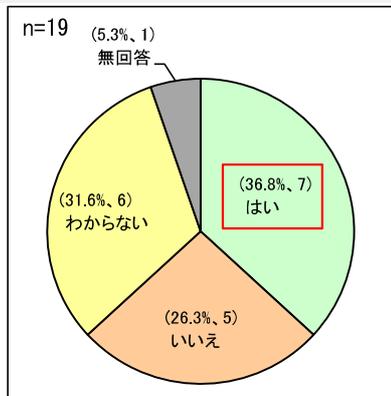
- きんちゃんバスがなくなった場合、チョイソコやとみがあれば移動に問題はないかについて、「特に問題はない」と回答した人はおらず、「運賃が安くなれば」が一番多く、次いで「運行日数が増えれば」「運行の時間帯が長くなれば」が多い。
- 具体的な回答として、運賃については「100円」「200円」、運行日数については「7日（毎日）」、運行の時間帯については「6時～22時」が多い。



図：きんちゃんバスがなくなった場合、チョイソコやとみがあれば移動に問題はないか（複数回答）

⑤ 社会実験運行中にチョイソコやとみの利用意向

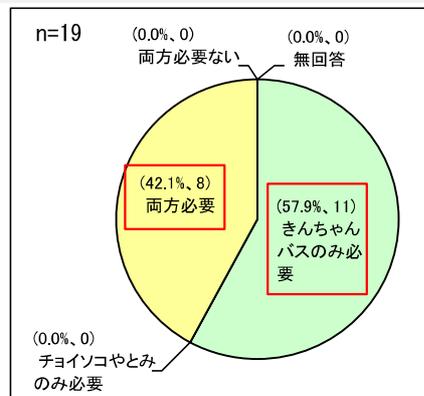
- 利用したい人は36.8%であり、今後新規利用者の獲得が見込める。



図：社会実験運行中の今後のチョイソコやとみの利用意向

⑥ きんちゃんバス、チョイソコやとみの運行の必要性について

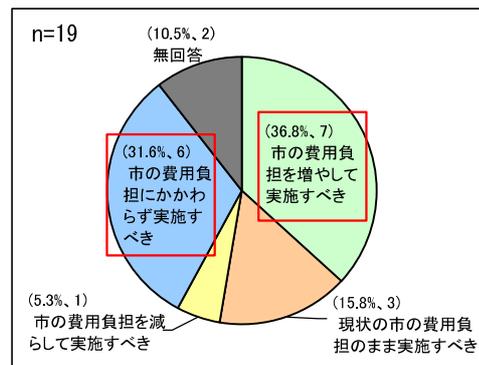
- 「きんちゃんバスのみ必要」が一番多く、次いで「両方必要」が多い。



図：きんちゃんバス、チョイソコやとみの運行の必要性

⑦ 今後の市の費用負担について

- 今後の市の費用負担について、「市の費用負担を増やして実施すべき」という回答が一番多く、次いで「市の費用負担にかかわらず実施すべき」が多い。



図：今後の市の費用負担

4) 所感・考察

- ・会員登録者数に対し実際に利用した人が少なく、次のステップとして、会員登録に関する周知だけでは無く、会員登録者に利用してもらうための周知・取組が必要である。
- ・試しに1回だけ利用した人が多く、試しに1回だけではなく定期的に利用したいと思う仕組みづくりが必要である。
- ・週に2回（運行日毎日）チョイソコやとみを利用している人もおり、少数ではあるが、特定の人の日常生活には適応している。
- ・本格導入に向けた検討においては、曜日や運行時間帯について、利用実績データも踏まえて検討の余地あり。
- ・家族の車で送迎から転換した人も多く、家族の負担軽減効果等も見込まれる。
- ・運行曜日（回数）、時間帯、予約受付時間の3項目では運行曜日（回数）について優先的に検討・改善する必要がある。
- ・栄南学区で「市の費用負担を増やして実施すべき」と回答した人が多い理由として、栄南学区は大藤学区に比べて目的地（中心市街地）まで遠い（アクセスが悪い）ことが考えられる。

(4) 社会実験運行目標の評価

○社会実験運行目標：社会実験運行目標とは本格運行するか否かを確認するための指標

「公共交通利用者数の増加（既存南部ルート＋第3期社会実験運行の利用者数が、実験前の既存南部ルート利用者数よりも増加しているかどうか）」

1) 具体的な検証方法

- ・「指標Ⅰ：既存と社会実験運行時の公共交通全体の利用者数の増減」と「指標Ⅱ：既存と社会実験運行時のきんちゃんバス南部ルートの利用者数の増減」を確認する。

※R4年度実績を既存の南部ルートの実績とする。

※評価はチョイソコやとみ運行曜日の火・金のデータを用い、時間帯は、チョイソコやとみの運行時間である「9時～16時」とし、そのうち南部ルートの運行が無い10時台と13時台を除く。

2) 中間評価

- ・指標Ⅰについて、 $((②+③)-①) > 0$ であるため、公共交通全体として利用者が増加している。
- ・指標Ⅱについて、 $(②-①) > 0$ であるため、社会実験運行時は既存（R4年度）に比べてきんちゃんバス南部ルートの利用者数が増加している（減少していない）。

⇒チョイソコやとみを導入してもきんちゃんバスの利用者は減らず、公共交通全体として利用者が増加した。

表：社会実験運行目標に対する中間評価

平日 (人/日)	出発時刻	便名	南部ルート利用者 (既存)		南部ルート利用者 (社会実験運行時)		チョイソコやとみ利用者 時間帯別利用者数(③) (R5.6～R5.9)	②+③	指標Ⅰ (②+③)-①	指標Ⅱ (②-①)
			R4年度(①) (R4.4～R5.3)		R5年度(②) (R5.4～R5.9)					
9時台	9:15	南部6	17.2	31.5	22.0	35.9	2.6	38.5	6.9	4.3
	9:45	南部7	14.3		13.9					
11時台	11:55	南部8	18.9	18.9	15.7	15.7	1.9	17.6	-1.3	-3.2
12時台	12:35	南部9	13.5	13.5	14.0	14.0	1.8	15.8	2.3	0.5
14時台	14:45	南部10	13.5	13.5	13.2	13.2	0.9	14.1	0.6	-0.3
15時台	15:25	南部11	8.6	8.6	8.7	8.7	0.6	9.3	0.6	0.0
合計				86.1		87.4	7.8	95.2	9.2	1.4